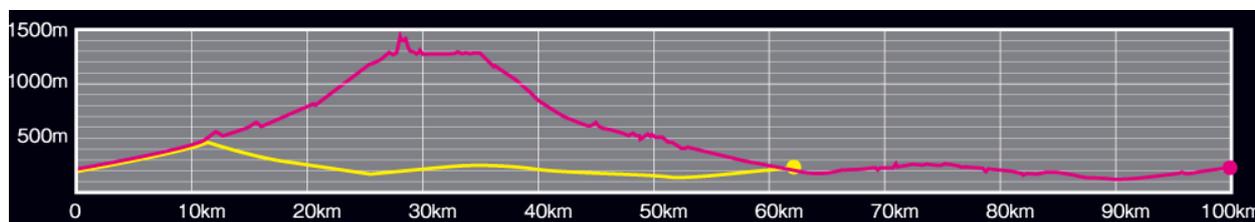


日光 100Km ウルトラマラソン出場記

7月2日(日)、第1回となる日光 100Km ウルトラマラソンが開催されました。このウルトラマラソン、日光杉並木から日光東照宮等の世界遺産を抜け、いろは坂を駆け上って中禅寺湖畔をまわり、またいろは坂を駆け下って日光江戸村や鬼怒川温泉方面を走り抜けるという、見所多いコースです。

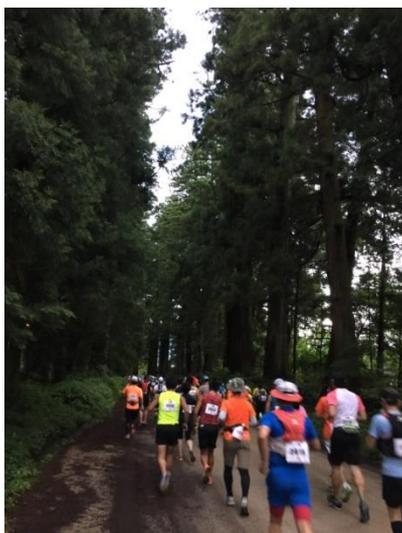


100km (赤ライン) コース図



コース高低差図

当日、早朝からあいにくの雨模様でしたが、スタートの頃には雨も上がり、4:30、いよいよスタート。日光の市街地を西進し、コースは日光杉並木へ。江戸時代に整備された杉並木は、うっそうとした巨大な杉の大木が続き、かつては大名行列もここを通ったのだろうかなどと想像が膨らみます。杉並木を抜けると、いよいよ日光東照宮。まさかの東照宮境内を走り抜けるコースに、ランナーのテンションもヒートアップ。私もレースそっちのけで写真を撮っていました。



日光杉並木



日光東照宮境内



東照宮前で記念撮影



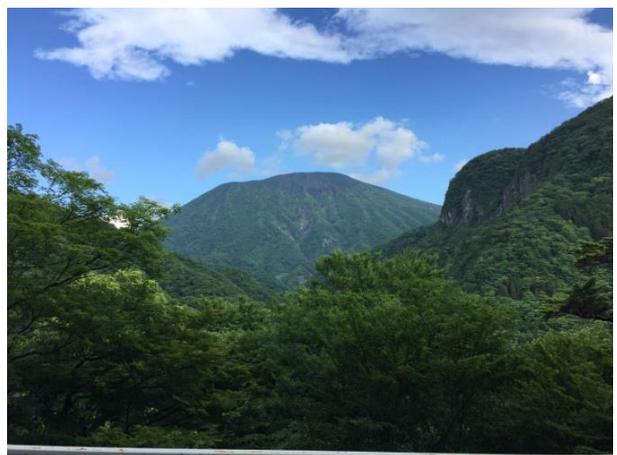
世界遺産を駆け抜ける

東照宮を抜けると、いよいよいろは坂。中禅寺湖目指して坂を駆け上ります（私はほとんど歩きでしたが...）。途中、雲間から太陽ものぞき、男体山が綺麗に見えました。

いろは坂を上り切ると視界が開け、中禅寺湖が目の前に広がります。その右手には男体山。風光明媚な湖畔、景色を楽しみながら走りました。



いろは坂



いろは坂からの男体山遠望



中禅寺湖



男体山を望む中禅寺湖畔



いろは坂を駆け下る

中禅寺湖畔のコースを抜けると、いろは坂を今度は駆け下ります。ここでスピードアップするも、足へのダメージはこの後のレースに影響しました。カーブが連続する坂の景色は走っていて楽しかったのですが、ここでの足へのダメージについては多くのランナーさん達が同様に感じていらっしやったようです。

いろは坂を下って市街地に入りしばらく走ると、進路は北に変わり、鬼怒川温泉方面へ。途中、給水ステーションが日光江戸村や東武ワールドスクウェア内に設けられていて、日光江戸村ではキャラクターさん達が出迎えてくれました。



日光江戸村にて



鬼怒川温泉郷

鬼怒川温泉郷を抜けると、レースはいよいよ最終盤。郊外の田園風景を眺めながらのランです。終盤のコースはほぼ平坦ですが、序盤のいろは坂での消耗も効いてきて、ランナーの皆さん、黙々と走り続けていました。ここで粘り強く走り続けるところ、さすがウルトラランナーの皆さんだなぁ、と思いました。

西に傾きつつある日の光を浴び、へとへと足取りで最後のラン。日光市街が近づいてくると、道路沿いに「LAST 5 Km」の看板が。「LAST 4 Km」、「LAST 3 Km」、「LAST 2 Km」、「LAST 1 Km」。前方右手から、「〇〇さん、お帰りなさい！」とスピーカー越しの声が聞こえてくる。

沿道からも、「がんばれ〜!」「あともう少しですよ〜!」と声援が飛んできます。大会スタッフの方が右折するよう手を回している。コースを右手に折れると、ゴール会場の運動公園が目の前に。ウグイス嬢の「中尾さ〜ん、お疲れ様〜!」という言葉に迎えられて、ゴール!

いやー、疲れました。でもゴールの瞬間は、何度経験してもたまらないですね。完走メダルも独創的で、素敵です。ランナーの皆さん、長い一日、お疲れ様でした。



ゴール !!



完走メダル

(文責：中尾唯史)